

■前田国土交通大臣が3次補正予算で「住宅エコポイント復活」表明

前田武志国土交通大臣が住宅エコポイント制度を復活させたと発言した。従来の住宅エコポイントは省エネ基準を満たした住宅の新築、リフォームにポイントを発行するもの。

その要旨は以下のとおり。

被災地域の復興とその地帯の住宅・建築物のゼロ・エネルギー化に向けて、3次補正予算でも芽を出させようということで行っており、住宅のエコポイント制度について復活させた。

具体的には、住宅の新築については、従来の30万ポイントの半分の15万ポイントとする。

ただし、被災地の岩手、宮城、福島県は30万ポイントとする。

ゼロ・エネルギーというか省エネを推進していくと、現在ある住宅・建築の省エネが非常に重要になるので、既存の住宅の省エネ改修、リフォームについては30万ポイントで継続することで、要求している。

▽ ▽ ▽

国交省発表の前回の住宅エコポイントの申請受付開始から23年8月末までの住宅エコポイント申請状況累計は新築が456、652戸、リフォームが517、376戸。

一方、住宅エコポイントの発行状況累計は新築が444、651戸、リフォームが493、029戸となった。

注意)本書を無断で転載することを禁じます。